

校長室だより

NO.8 平成29年 9月 1日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「白露（はくろ）」

9/8 頃 八月節 太陽視黄経 165 度 陰気ようやく重なりて露こごりて白色となれば也（暦便覧）野には薄の穂が顔を出し、秋の趣がひとしお感じられる頃。朝夕の心地よい涼風に、幾分の肌寒さを感じさせる冷風が混じり始める。

1学期の最後では、二十四節季は夏の季節でしたが、立秋・処暑を過ぎて秋の真ん中まで、季節は進んでいます。8月の終わり頃は、朝夕に少しですが空気が変わり始めたことを感じるがありました。2学期の始めにあたり、体調管理をしっかりと、行事の多い2学期に臨みたいと思います。



はるかのひまわりも夏休みの後半には、花が咲きました。あとは、うまく結実してくれて、六中フェスタで来場者に、はるかのひまわりの種を配り、はるかのひまわりの想いを伝えられたらと考えています。

5年生が取組んでいるお米作りも、稲は好天に恵まれぐんぐん成長し、稲穂が頭を垂れ始めているものもあります。好天であるということは、水の管理や雑草・害虫の駆除など、しなければならぬことも多くあったことだと思います。そのような手入れのおかげで、しっかり育っている稲を見ることができています。この暑い夏の作業、ありがとうございます。

8月17日には、後半のプール指導のために、プール掃除を行いました。6年生は、当たり前のように来てプールをきれいにしてくれました。わずか3週間ほどの間でしたが、藻ができプールサイドも汚れがついていました。当日はくもり空だったとはいえ、暑い中汗をいっぱいかくてくれた6年生のおかげで、夏休み後半から2学期にきれいなプールが使えます（6年生に感謝!!）。また、学童で学校へ来るときに立部公園で財布の落とし物を見つけ、学校へ届けてくれた3年生の男の子がいました。落とした人が困っているだろうという気持ちで届けてくれました。人のことを考えてあげる大切な力が育っていると感じました。

2学期も、保護者、地域の方のご協力のもと、子どもたちに大切な心を育成し、実り大きい2学期となるよう、松原東小全教職員でがんばります。